

たくましく 伸びよう 伸ばそう 高島の子

まなざし

題字：西川桂郎

2022
3月号
No.41

2022年度 会長交代のご挨拶とコロナ禍の活動の影響

高島市青少年育成市民会議 会長 杉嶋 郁夫

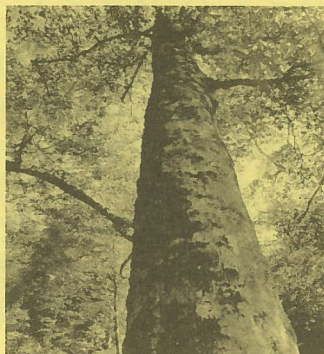
日頃より、市民会議の活動に関しまして、皆様の多大なご理解とご支援に心から感謝いたしております。今年度4月より、長年にわたりご尽力いただきました平楽前会長よりバトンを引き継ぎ、その任の重さを痛感しているところです。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さて、新型コロナウイルスが国内で初めて確認されてから今年1月15日で2年となり、昨年末からオミクロン株が各地で猛威を振るい、第6波の勢いとなっています。コロナ禍のこの2年は、青少年育成事業に多大な影響を及ぼしました。このことにより、子どもたちの社会力向上のためには、野外での活動は欠かすことのできない体験の一つと考え、これまで中止された事業が子どもの将来に何らかの影響を及ぼすのではないかと懸念しています。コロナ収束までの間、青少年育成事業をどのような形で展開するかが、市民会議の重要な課題となります。従来概念から、新しい発想と工夫「ウィズコロナ時代」の新しい育成の形を創造していきたいと思っております。

よえもん道場 ～水源の郷 ブナの原生林へ～

よえもん道場は、市内の小学4～6年生を対象に体験活動を行っています。

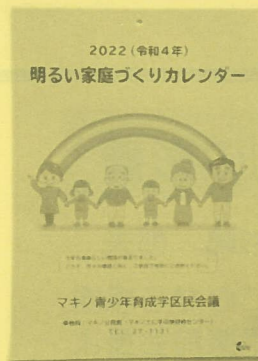
今年度は年間2回の開催を予定していましたが、第1回は新型コロナウイルスの影響を受け、残念ながら中止となってしまいました。第2回は天候にも恵まれ、10月9日（土）に朽木地域にあるブナの原生林へ行くことができました。樹齢約300年のブナの木はとても神秘的で、案内をしてくださったガイドの清水美里さんの説明にみんな聞き入り、木々の役割や自然の力の素晴らしさを知りました。また、山の麓には琵琶湖の水源となる湧き水が流れ、子どもたちは思い思いに水を手に汲み、水の大切さについても学びました。



地域で青少年を健全育成

～青少年育成学区民会議の活動紹介

マキノ青少年育成学区民会議



明るい家庭づくりカレンダー

マキノ青少年育成学区民会議では、毎年「明るい家庭づくりカレンダー」を作成しています。町内4小中学校の児童・生徒とその保護者から明るい家庭づくりにつながる標語を募集しています。今年度は503作品が集まり、総務部会により12作品を選定し、カレンダーに掲載しました。各校より推薦された優秀作品は、広報紙「いきいきマキノっ子」にも掲載してカレンダーとともに地域の全戸に配布しました。



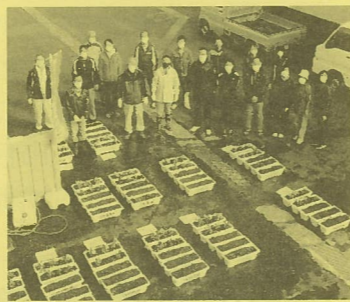
その月に合った標語を掲載

今津青少年育成学区民会議



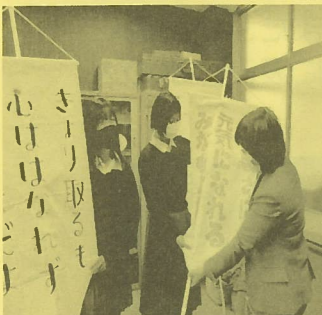
花いっぱいプロジェクト活動

青少年が地域で健全に成長することを願って、あいさつ運動や11月に強調月間の街頭啓発などを行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な活動が縮小や中止になりましたが、地域の皆さんに少しでも明るく元気になってもらうために、中学生ボランティアと委員が一緒になってプランターに花を植え、各校園と公共施設に届ける「花いっぱいプロジェクト活動」を行いました。



花が咲くのが楽しみです。

新旭青少年育成学区民会議



湖西中学校でのペナント受け渡し式

新旭青少年育成学区民会議では、コロナ禍のため、例年のように多くの子どもたちとの交流はできませんでしたが、2年ぶりに「より良い自分づくり、人づくり、友達づくり、そして町づくり」をテーマに新旭北小学校、新旭南小学校、新旭養護学校に標語募集を行いました。標語の優秀作品は、湖西中学校美術部の皆さんにペナントに描いてもらい、関係各所に設置いただきました。また、11月にはクリーンアップ作戦としてゴミ拾いや駅前花壇整備に各小学校、中学校、養護学校、各種団体の皆さんなど多くのご参加をいただき、環境美化に努めました。



クリーンアップ作戦

安曇川青少年育成学区民会議



あいさつ運動

「大人が変われば、子どもも変わる運動」を柱として、青少年の健全育成に取り組んでいます。

主な事業である「家族や地域を思いやるための作文」は、小学生を対象に、家族や地域活動で感じたことを作文にすることで、人を思いやる心を高めてほしいという願いで実施しています。今年度は68名から応募があり、優れた作品に対して表彰をしました。

その他、「あいさつ運動」や「街頭啓発活動」「花いっぱい運動」などを行っています。



街頭啓発活動

朽木青少年育成学区民会議



家族ふれあいの作品

毎年、家族ふれあいをテーマに三行詩とポスターを募集し、学区民会議の委員で審査と表彰をしています。今年度は、三行詩48作品、ポスター57作品の応募がありました。どの作品も家族や地域への感謝や愛情にあふれる作品ばかりでした。また今回は、三行詩を保護者の方々からも募集し、16作品の応募をいただきました。入賞作品と保護者の作品は公民館のロビーにおいて展示させていただきました。今後もこのような活動を続けていきたいと思っています。



表彰の様子

高島青少年育成学区民会議



牛乳パックで避難食づくり

今年度は「高島キッズチャレンジデー」として、「避難所生活体験」で災害に備えることの大切さと、災害に遭遇した時の行動について学びました。

また「高島の森の木を使ったクラフトづくり」では、SDGs（持続可能な開発目標）の「地球環境の持続可能性の確保」を意識して、廃材を利用したプランターづくりや小物づくりを体験しました。その他にも「子ども陶芸教室」、「たのしいスポーツ遊び教室」、「子どもお菓子作り教室」を実施しました。



廃材でプランターづくり

知事表彰を受賞されました！

令和3年11月13日（土）に滋賀県庁で、令和3年度滋賀県青少年等知事表彰の表彰式が開催され、新旭地域の八田洋子さん（やまのこ）が青少年健全育成功労者の部で表彰されました。

八田さんは、平成15年から18年間もの長きにわたり、子どもの体験活動を通じた青少年の健全育成や指導者の育成にもご尽力いただいています。



スマホトラブルから子どもを守りましょう☑

春は新入学や新学期を迎え、子どもにスマートフォンを購入される方も多いと思います。スマートフォンは非常に便利な情報端末ですが、一方で犯罪や被害に巻き込まれる事件が年々増加しています。

市民会議では高島警察署と協力し、子どもたちが犯罪や被害にあわないように、市内の携帯電話販売店に「フィルタリング」の徹底をお願いしています。

ご家庭においても、お子さんと話し合っただけでスマホルールを決め、「犯罪からあなたを守るためのもの」だと伝え、フィルタリングの設定をしましょう。

つばやき

この2年間で色々な事を考えさせてもらうことができた。でも済んだことは仕方がないが忘れてはいけない。良かった事も悪かった事も。

新しい環境、新しい技術、そして新しい社会。昭和28年生まれの小生は、今この世代の変革についていくのが結構しんどい。それでも日々勉強で、仕事や地域のことで話を持って来ていただける間は自分が関わること、出来ることを考えて、迷惑にならない程度にこの縁を大事にし、社会の一員としてもう少し頑張っていきたいと思う。

（広報啓発部 H.Y）

題字“まなざし”について

「まなざし」は、中江藤樹先生の「五事を正す」の「視」からいただいている。

「五事（ごじ）」とは、「貌（ぼう）」「言（げん）」「視（し）」「聴（ちょう）」「思（し）」を言う。普段の生活やまわりの人々との交わりの中で、自ら五事を正すことが良知をみがき、良知に致る大切な道であると説いている。

2022年3月 第41号

発行：高島市青少年育成市民会議

編集：広報啓発部会

事務局：高島市教育委員会事務局

社会教育課 地域教育連携室内

Tel：25-8565